



美しい 県土づくりNEWS

2023年

11月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第231号
令和5年11月30日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 いわて建設業みらいフォーラム 2023 を開催しました
- 4 中学生を対象とした道路メンテナンス体験学習会を開催しました！
- 6 ～建設業の担い手育成の取組～
「みやっこタウン」に出展しました！
- 8 西和賀町民へのトンネル現場見学会を開催しました！
- 10 県内各地で進めている県土整備部所管事業を紹介します！
- 14 いわての地域づくり・道づくりを考える大会開催
- 16 ぶち手ぶらキャンプを開催しました！
- 17 岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況・事例等を紹介します！

三陸復興

いわて建設業みらいフォーラム 2023 を開催しました！



令和5年11月21日(火)、トーサイクラシックホール岩手で「いわて建設業みらいフォーラム2023」を開催しました。

いわて建設業みらいフォーラム 2023 を開催しました

建設技術振興課

令和5年11月21日(火)、トーサイクラシックホール岩手で「いわて建設業みらいフォーラム 2023」を開催しました。

本フォーラムは、県民の安全で安心な暮らしの実現に果たす建設業の役割やその魅力を積極的に発信することで、建設業のイメージアップを図り、次世代を担う若者をはじめとした県民の建設業への理解や関心を高めることを目的としたもので、今回で10回目の開催となります。

今年は、県内の高校生等約300名に参加いただき、中堅技術者による取組発表や建設業の仕事や働くおもしろさ、建設業界の労働環境についてのパネルディスカッションのほか、企業ブースでの建設企業の紹介、技術展示を行いました。

第1部 オープニングトーク、中堅技術者による取組発表

今年度は、「オープニングトーク」として、司会者の千葉星子さんとコーディネーターの県建設業協会青年部連絡協議会常任顧問の青木健一さんが、県内の建設業の現状、地域における建設業の役割について紹介するとともに、フォーラムを通じて学んでほしいことや感じてほしいこと、将来の職業選択のきっかけとなってほしいことを伝えました。

その後、県内建設企業の中堅技術者2名から、仕事の内容や、働いてみて感じた建設業の重要性を発表していただきました。



会場の様子（聴講者）

千葉 星子さん
(司会者)青木 健一さん
(県建設業協会青年部
常任顧問)

オープニングトークの様子

奥地 裕介さん
(刈谷建設株)

中堅技術者からの取組事例発表

関口 晃太さん
(菱和建设株)

中堅技術者からの取組事例発表

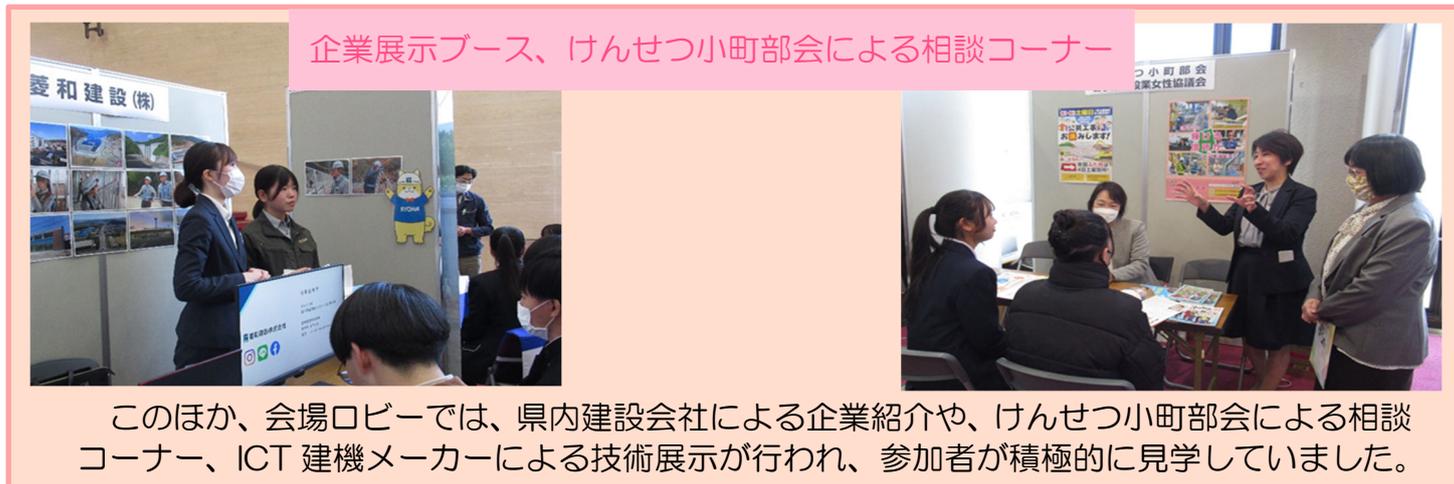
第2部 パネルディスカッション

コーディネーターとして青木さん、パネリストとして、取組発表を行った奥地さん、関口さんのほか、高橋朋美さん（㈱平野組）、櫻庭志歩さん（岩手県都市計画課）、佐々木直美さん（盛岡工業高等学校教諭）が参加し「建設業の仕事」、「建設業で働くおもしろさ」、「建設業の労働環境」及び「建設業への就職」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

高橋さんから、現在担当している工事の中で、ドローンによる現場写真の撮影を行っている様子について説明があり、測量など建設現場の様々な分野でデジタル化が進んでいる状況が紹介されました。

「質問コーナー」では、参加者を代表して盛岡工業高校の生徒4名から、「一日の業務の流れ」、「残業への対応」、「働き始めには何をすべきか」、「新入社員に期待すること」など、普段、疑問や不安に感じていることなどについて質問がありました。

参加者からは「建設業も様々な業務でデジタル化が進んでいると感じた」、「女性が働きやすい環境が整っていることがわかった」といった感想をいただきました。



このほか、会場ロビーでは、県内建設会社による企業紹介や、けんせつ小町部会による相談コーナー、ICT 建機メーカーによる技術展示が行われ、参加者が積極的に見学していました。

中学生を対象とした

道路メンテナンス体験学習会 を開催しました！

～道路メンテナンスの理解向上とインフラメンテナンスの担い手の確保・育成を促進～

沿岸広域振興局 土木部 宮古土木センター

県では、橋梁（約 2,800 橋）、トンネル（189 箇所）をはじめとした約 4,200km の道路を管理していますが、建設後約 50 年以上を経過する橋梁の割合は、現在の約 4 割（約 1,070 橋）から 20 年後には約 8 割（約 2,160 橋）と大幅に上昇する見込みであるなど、道路インフラの老朽化対策が重要な課題となっています。

このため、道路メンテナンスの必要性や重要性の理解を深めてもらうとともに、将来のインフラメンテナンスの担い手の確保・育成を目的に、令和 5 年度からの新たな取組として中学生を対象とした道路メンテナンス体験学習会を実施することとし、10 月 25 日（水）に宮古市立新里中学校の 2～3 年生、11 月 9 日（木）に宮古市立川井中学校の 1～3 年生を対象に開催しました。



補修工事を体験した明戸橋の上で集合写真

令和 5 年 10 月 25 日（水）
宮古市立新里中学校 2～3 年生
の 11 人に参加していただきました！



令和 5 年 11 月 9 日（木）
宮古市立川井中学校 1～3 年生
の 10 人に参加していただきました！



道路メンテナンスを体験した一般国道 106 号で集合写真



一般国道 106 号明戸橋の断面修復を体験
(宮古市立新里中学校)



車両通行の支障となっている木の伐採を体験
(宮古市立新里中学校)



建設業や道路メンテナンスの学習
(宮古市立川井中学校)



アスファルト舗装の穴埋めを体験
(宮古市立川井中学校)

◎ 参加した生徒達の感想

- こんな大変な作業をしていることを知らなかった。改めて感謝の気持ちを感じた。
- 普段何気なく走っている道路も色んな人たちの努力が詰まっていると改めて思った。
- 道路を守る作業をしてくれる人がいるおかげで自分たちが安全に通れていることが分かって楽しかった。
- 今回体験してみて興味が出てきたので、建設業も視野に入れて職業をこれから考えていきたい。

宮古土木センターでは、体験学習会を通じて、中学生に道路メンテナンスの必要性や重要性の理解を深めてもらうとともに、将来のインフラメンテナンスの担い手確保・育成に取り組んでいきます。

本取組の詳細は、以下の宮古土木センターホームページを御覧ください。

<宮古土木センターホームページ>

トップページ>沿岸広域振興局>宮古土木センター>道路>道路の環境改善・維持管理

https://www.pref.iwate.jp/engan/miya_doboku/1068516/1068749/index.html

～建設業の担い手育成の取組～

「みやっこタウン」に出展しました！

沿岸広域振興局 土木部 宮古土木センター

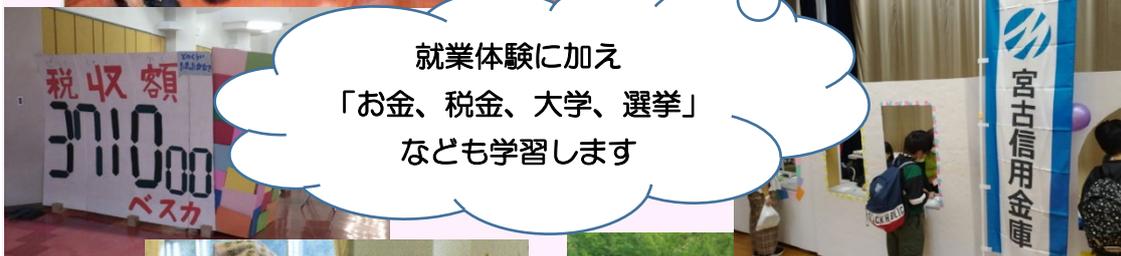
「みやっこタウン」とは

みやっこタウン実行委員会（事務局：NPO 法人みやっこベース）が主催する小学生向け社会・就業体験イベントです。

単なる就業体験ではなく、架空の「まち」を舞台とした社会体験プログラムも行っています。



就業体験に加え
「お金、税金、大学、選挙」
なども学習します

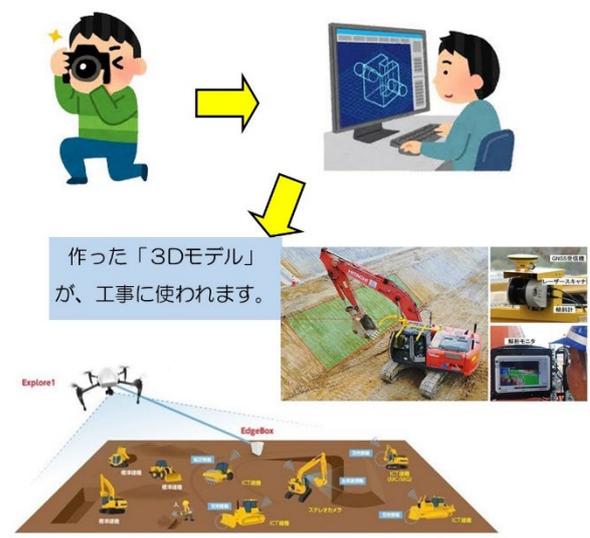


みやっこタウン Facebook <https://www.facebook.com/MiyakkoTown/>

「建設業の担い手育成」の取組として、国土交通省東北地方整備局と宮古土木センターが協力し、「小学生が建設DXを体験」するブースを出展しました。

そくりょう
みやっこ 3D測量
けんせつぎょう
建設業

自分で写真を撮って、建設業で使う「3Dモデル」を作ってみよう！



作った「3Dモデル」が、工事に使われます。



岩手県建設業協会宮古支部青年部も「みやっこ建設」として建設業をPRするブースを出展しました



自分で撮った写真から、3Dモデルを作成する体験を行っていただきました。
参加者から「図を作るときに3Dでやるから、時代の変化ってすごいなと思いました。」などのうれしい感想もいただきました。



一般国道107号大石地区災害復旧事業

西和賀町民へのトンネル現場見学会を開催しました！

県南広域振興局土木部北上土木センター

一般国道107号西和賀町大石地区は、令和3年5月に発生した地すべりにより通行止めになり、災害復旧事業として岩手県がトンネル工事を進めています。

北上土木センターでは、**災害復旧事業**や**トンネル工事**について**理解を深めていただくため**、令和5年11月11日(土)に西和賀町民など約80名を対象とした**トンネル現場見学会**を開催しました。

【トンネル工事の動画視聴】



【3D スキャナーと岩盤の説明】

3D スキャナーで職員を計測



凝灰岩 安山岩

トンネルの造り方や工事動画の視聴、3Dスキャナーの計測、岩盤の成り立ちや重さの違い、トンネル機械の実演など工事受注者が工夫を凝らし、充実した内容の見学会になりました。



【ドリルジャンボの実演】

参加者からは「何人で工事しているの?」「正確に掘り進めるためにはどうしているの?」「このトンネルは難しい現場?」など、たくさんの質問をいただきました。

また、「トンネル工事に最新技術が使われていて驚いた」「完成したら通ってみたい」などの感想もいただき、災害復旧事業やトンネル工事の進捗を実感いただくとともに、地域の方々の期待の高さを感じることができました。



【見学記念写真撮影】

大石地区では、令和5年7月から本格的にトンネル掘削を開始し、見学会開催の11月11日時点で約300mの地点まで掘り進んでいます。

一般国道107号大石地区の早期復旧に向けて安全第一で事業を推進し、ますます地域に愛される道路となるよう、令和8年度の事業完了に向けて引き続き取り組んでいきます。

大石地区災害復旧事業の概要

- 事業費:約130億円
- 概要:トンネル工 約1,460m、橋梁工 約70m、応急仮工事一式(押え盛土工、仮橋工、横ボーリング工)
- 事業期間:令和8年度まで

県内各地で進めている 県土整備部所管事業を紹介します！

県土整備部が所管する事業について

県では、「いわて県民計画（2019～2028）」に基づき、県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求することができる地域社会を実現するために10の政策分野を設定するとともに、各政策分野に幸福に関連する客観的指標を定め、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開していくこととしています。

県土整備部では、各政策分野を下支えする土台である「社会基盤」に加え、「居住環境・コミュニティ」や「自然環境」などに関する分野の事業を推進しています。

令和5年度 県土整備部の予算について

令和5年度の県土整備部の一般会計予算（当初予算）は約681億円であり、県全体の一般会計予算のおよそ8.8%を占めます。

また、県土整備部の一般会計予算（当初予算）のうち、「道路や河川等の整備」や「県管理の公共土木施設の老朽化対策」など、主に社会基盤の整備等に要する経費である普通建設事業費は約378億円です。

県土整備部では、上記に加え、加速化対策等の補正予算である約201億円を活用し、安全・安心を支える社会基盤の整備等に取り組んでいます。

【参考】実行予算について

実行予算とは、補正予算と翌年度の当初予算を一体で編成する予算のことです（いわゆる15か月予算など）。

県では、国の経済対策への対応分である令和4年度2月補正予算（第8号・第9号）と令和5年度当初予算を合わせて編成しています。

県土整備部においても「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の補正予算と当初予算を合わせて編成しています。

区分	普通建設事業費（百万円）			比率（%）
	補正	当初	合計（実行予算）	実行予算／震災前
H22当初（震災前）	—	54,812	54,812	—
R2.2月補正（加速化対策等）＋R3当初	29,599	35,152	64,751	118%
R3.2月補正（加速化対策等）＋R4当初	23,981	33,543	57,524	105%
R4.2月補正（加速化対策等）＋R5当初	20,134	37,763	57,897	106%

今月号（11月号）では、各広域振興局土木部や土木センター等が進めている「街路や歩道の整備」や「県営住宅や港湾、空港の長寿命化」などの事例を御紹介します。

都市

もりおかし 盛岡市 もり おおはし 杜の大橋工区

((都)盛岡駅本宮線)

盛岡広域振興局土木部

着手前



施工状況



(R5.7月撮影)



橋桁に必要なPCケーブル(鋼材)を張っている状況



○ 渋滞緩和等の交通の円滑化のため、都市計画道路の整備を進めています。

住宅

おうしゅうし 奥州市 県営住宅のリフレッシュ工事

(県営内匠田アパート)

県南広域振興局土木部

対策前



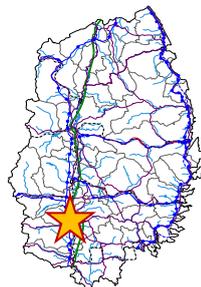
対策状況



(R5.8月撮影)



リフレッシュ工事の状況



○ 安心して快適に居住できるよう、老朽化した県営住宅のリフレッシュ工事を行っています。

道路

きたかみし 北上市
てらだ 寺田工区

((一)夏油温泉江釣子線)

県南広域振興局土木部
北上土木センター

施工前



施工状況



歩道整備中

(R5.10月撮影)



道路盛土工の状況



○ 歩行者が安全に通行できるように、歩道の整備を進めています。

港湾

くじし 久慈市
すわした 諏訪下地区

(久慈港)

県北広域振興局土木部

対策前



対策イメージ(近傍の施工完了箇所)



(R4撮影)

補修材の吹き付け状況イメージ
(近傍の施工完了箇所)



○ 老朽化した岸壁を修繕し、施設の長寿命化を図っています。

空港

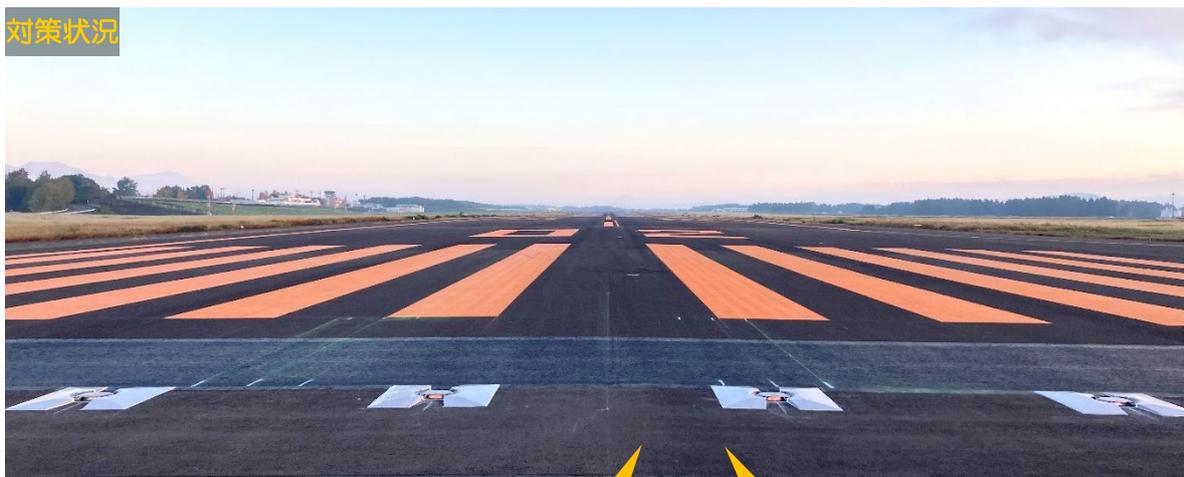
はなまきし
花巻市 滑走路舗装改良工事
(花巻空港)

花巻空港事務所

対策前



対策状況



(R5.7月撮影)



老朽化したアスファルト
の削り取りの状況

(R5.7月撮影)



アスファルトの
敷き均しの状況



○ 航空機の走行安全性能を回復させるため、滑走路の舗装改良工事を進めています。

令和5年度 いわての地域づくり・道づくりを考える大会 開催

岩手県道路整備促進期成同盟会主催

道路建設課

令和5年11月6日（月）、花巻温泉ホテル千秋閣にて、岩手県道路整備促進期成同盟会（会長：花巻市長）主催の『いわての地域づくり・道づくりを考える大会』を開催しました。（共催：岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会（会長：知事）、岩手県道路利用者会議（会長：盛岡市長））

大会には、木村 国土交通省東北地方整備局道路部長を始め、県内の市町村長、県議会議員、岩手県選出の国会議員、関係団体など約250人に御出席いただきました。



大会の様子



主催者挨拶 上田 花巻市長



共催者代表挨拶 達増 知事(代読：加藤 県土整備部長)

上田 花巻市長は主催者挨拶で、『持続可能で質の高い地域づくりを実現していくため、高規格道路の暫定2車線区間の4車線化及びダブルネットワーク化などについて、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、必要な予算を確保できるよう強く要望していく』と述べました。

達増 知事（代読：加藤 県土整備部長）は共催者代表挨拶で、『「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について、その取組を計画的に推進するために必要な予算を例年以上の規模で確保するよう国に強く働きかけていくことが重要』と述べました。

また、来賓の方々を代表し、藤原 衆議院議員、横沢 参議院議員、山本 国土交通省東北地方整備局長（代読：木村 国土交通省東北地方整備局道路部長）、工藤 県議会議長（代読：臼澤 商工建設委員長）からそれぞれ祝辞をいただきました。



来賓祝辞
藤原 衆議院議員



来賓祝辞
横沢 参議院議員



来賓祝辞
山本 国土交通省東北地方整備局長



来賓祝辞
工藤 県議会議長
(代読：木村 国土交通省東北地方整備局道路部長) (代読：臼澤 県議会商工建設委員会委員長)

大会では、「道路をとりまく最近の話題」と題して、木村 道路部長から東北の道路整備の経緯と課題、復興道路の整備効果とこれからの道づくりや令和6年度概算要求の概要について講演をいただきました。

また、県内の道路を利用する方々から、それぞれの地域における実情を踏まえた道路の重要性や今後の利活用について意見を発表していただきました。

○ 県内の道路を利用する業種の方々による意見発表



公益社団法人 岩手県トラック協会 副会長
黒澤 信 氏
(大昭運輸株式会社 代表取締役)

【テーマ】「道路の重要性について」

【主な発言内容】

- ・ 働き方改革関連法の見直しにより、物流業界では、様々な問題が発生すると懸念されている。(物流 2024 年問題)
- ・ 県内の主要幹線道路は改良整備が進み、貨物輸送の効率化、県民の安心・安全に大きく貢献している。
- ・ 一方、昨今の豪雨災害等による内陸と沿岸を結ぶ横軸道路の寸断は、県民の生活に大きなダメージを与えた。
- ・ 県内経済の発展のためにも横軸となる国道の早急な整備が必要。

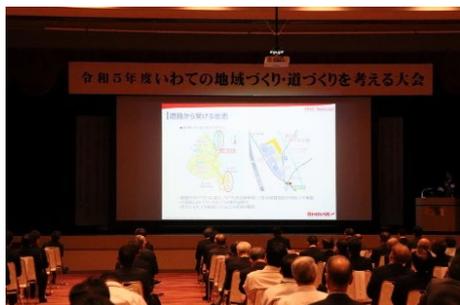
【テーマ】「道の駅と道路」

【主な発言内容】

- ・ 三陸沿岸地域を縦に結ぶ「復興道路」が整備されたことで、遠方からも多くの方が来館されている。
- ・ 一方、内陸から沿岸に来るには、北上山地を越える必要があり、特に冬期間の峠道は危険。
- ・ これまで以上に多くのお客様に来ていただくためには、内陸と沿岸を結ぶ横軸となる国道の整備が必要。



道の駅いわて北三陸 駅長 大向 昌彦 氏
(シタックス大新東ヒューマンサービス株式会社)



意見発表の様子



決議(案)読み上げ 佐藤 一関市長



上田 花巻市長から横沢 参議院議員へ決議手交

最後に、佐藤 一関市長が決議(案)を読み上げ、大会決議が採択され、上田 花巻市長から横沢参議院議員に決議書を手交しました。

大会後には、11月13日(月)及び20日(月)に関係省庁等を訪問し、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算・財源の確保や、期間終了後においても、引き続き国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算に加えて別枠で確保すること、暫定2車線区間の4車線化や耐震補強等の機能強化などを要望しました。

県では引き続き、市町村、関係者の皆様と連携し、安全・安心を支え、産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備に向けて必要な予算確保に取り組んでいきます。

ぷち手ぶらキャンプを開催しました！

都市計画課

令和5年11月11日(土)に高田松原津波復興祈念公園において、協働グループの1つであるNPO法人きらりんきっすが主催し、公園の指定管理者と他の協働グループが協力して、ぷち手ぶらキャンプを開催しました。

協働グループとは？

公園管理者とともに公園の管理運営と一緒に取り組む市民、NPOなどによる団体。

本イベントには、就学前の子どもがいる計7家族（子供16名、大人13名）が参加しました。

はじめは、屋内でテントの設置と撤去方法を学んだほか、落ち葉を使った自然遊びで素敵な作品を作りました。

また、災害時に水を節約出来るポリ袋クッキングでは、カレー・切干大根の和え物・白玉団子をつくり、みんなで美味しくいただきました。

県では、子育て関連施設でもある「都市公園」の魅力アップに繋がるイベントなどを通じ、引き続き、人口減少対策に取り組んでいきます。



屋内でテント設置



(自然遊び) 画用紙にお絵描き



(自然遊び) 絵に葉っぱを貼付け



材料を入れてポリ袋をもみもみ



袋ごとお鍋でぐつぐつ



みんなでいただきます



🍂 (集合写真) 落ち葉でコラージュ 🍂

当日のスケジュール

- ・集合
- ・屋内でテント設置
- ・自然遊び
(落ち葉でコラージュ)
- ・ポリ袋クッキング
昼食
- ・片付け、解散

『特集ページ』

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等を紹介します！

令和5年度の県土づくりNEWSでは、岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等」を9回に分けて御紹介します。

実施状況・事例等		防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策	
		概要 p.3 岩手県の取組 p.3 予算の配分 p.4	
p.5	1 効果事例	河川 p.7 砂防 p.15 道路 p.20 港湾 p.31	
p.33	2 現在実施中	河川 p.34 砂防 p.37 道路 p.39	
p.45	3 今後実施予定	河川 p.47 砂防 p.52 道路 p.55 港湾 p.66	
p.68	4 現場の取組		

■特集ページのスケジュール

掲載予定	対策の状況	分野	内容等
R5.7月号	効果事例	河川、砂防	堤防等の整備、河川の堆積土砂撤去、砂防堰堤の整備、急傾斜地の崩壊対策
R5.8月号		道路、港湾	道路の斜面对策、舗装の補修、橋りょうの老朽化対策、岸壁の老朽化対策
R5.9月号	現在実施中	河川	堤防等の整備、内水対策、洪水浸水想定区域図の公表
R5.10月号		砂防	砂防堰堤の整備、土砂災害が発生するおそれのある箇所への対応
R5.11月号		道路	道路の斜面对策、橋りょうの老朽化対策、道路の整備
R5.12月号	今後実施	河川、砂防	河川整備における今後の取組の背景、河川の堆積土砂撤去、ダム設備の補修、砂防堰堤の整備・老朽化対策
R6.1月号		道路	道路整備における今後の取組の背景、道路の整備、無電柱化の推進、橋りょう等の老朽化対策
R6.2月号		港湾	臨港道路・物揚場の補修
R6.3月号	現場の取組	全般	建設DX、工事現場見学会・出前講座の開催

■今月（令和5年11月号）の特集

今月は5か年加速化対策の「現在実施中（道路）」を御紹介します！

『特集ページ』 ～効果事例（道路）～

防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策 **現在実施中**

 **岩手県** **43**
Iwate Prefecture

道路 斜面を固定し、崩壊を防止

おうしゅうし たてやま みずさわよねさとせん
➤ **奥州市 館山地区**（主要地方道水沢米里線）

対策前 **対策実施中**




【斜面崩落発生】平成29年11月
（負傷者1名、車両損傷2台）

国土強靱化対策工事
（5か年加速化対策）

PCW 工法
PCWパネル＋気泡混合軽質盛土

令和6年度
完成予定

令和4年度の状況

対策の内容 崩落した道路の斜面をコンクリートでおさえ、
通行止めとなるリスクを低減します。

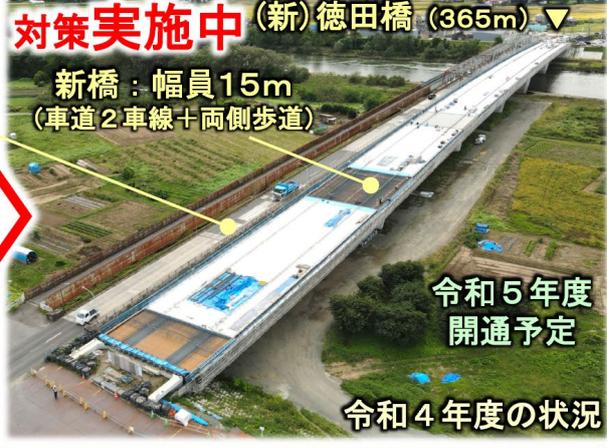
防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策 **現在実施中**

 **岩手県** **44**
Iwate Prefecture

道路 橋りょうの老朽化対策

もりおかし やはばちょう とくたばし おおがゆうとくとせん
➤ **盛岡市・矢巾町 徳田橋**（一般県道大ヶ生徳田線）

対策前 **対策実施中**（新）徳田橋（365m）

現橋：昭和37年架橋
（幅員6m）

新橋：幅員15m
（車道2車線＋両側歩道）

北上川

【橋桁の腐食】

令和5年度
開通予定

令和4年度の状況

対策の内容

- 架橋後50年以上経過し老朽化した徳田橋を架け替えています。
- 現橋は大型車のすれ違いが難しいため、新橋では幅を広げます。